

2022年6月9日

一般社団法人 公認心理師の会 会員各位

一般社団法人 公認心理師の会  
理事長 丹野義彦  
教育・特別支援部会 部会長 小関俊祐  
専門資格委員会委員長 金井嘉宏

## 教育・特別支援部会コンピテンスリスト

### 会員向けパブリックコメントへのお答え

平素よりお世話になっております。

当部会のコンピテンスリストについてコメントをいただきありがとうございました。

パブリックコメント募集期間（2022年1月27日～2月27日）に会員からいただいたコメントは6件でした。ご協力いただきありがとうございました。

コメント内容と教育・特別支援部会からのお答えを以下に掲載いたします。

一般社団法人 公認心理師の会 事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル  
公益社団法人日本心理学会 事務局内  
E-mail [cppn@cpp-network.co](mailto:cppn@cpp-network.co)

#### コメント1

カテゴリーの項目は各部会とも共通の項目だと統一されているように思います。

##### 【教育・特別支援部会からのお答え】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。公認心理師として共通して求められる内容は共通コンピテンスリストとして提示しておりますため、そこで他部会と共通する大項目・中項目を記載させていただいております。他のカテゴリーや項目については、現時点では各部会のコンピテンスに特化した内容が整理されておりますが、本リストは、あくまで現時点でのリストであり、一定期間運用後に見直しを図りながら、さらにより良い内容として整理していけたらと考えております。

#### コメント2

もう少し新時代に合わせた内容があっても良いのかと思いました。例えばメタバースのような。仮想世界でのエビデンスは子どもたちの世代には無視できないものになっていると予想します。

##### 【教育・特別支援部会からのお答え】

IX. 発展的知識と実践に関わるコンピテンス「②教育に関する先端的知識を踏まえて実践活動を進めることができる」などの項目に含まれていく可能性のある内容として、今後検討させていただきます。本リストは、現時点でのコンピテンスリストであり、一定期間運用後、見直しを図るものとして考えております。

#### コメント3

公認心理師の持続可能な報酬制度を社会制度に組み込んでいく、システム改革を目指す。

##### 【教育・特別支援部会からのお答え】

教育・特別支援部会のコンピテンスリストに特化した内容ではないものと思われませんが、これからの公認心理師による活動全体に関わる貴重なご意見として承りました。

#### コメント4

V.④小項目では、SC が教育相談の一つとして位置づけられていることから「教育相談技能」を加えたほうがよいと思います。⑤では、予防・開発・成長促進は学校環境づくりだけでなく、児童生徒個々及び集団に対しての援助技能があってもよいかと思われます。かつて私が実施してきた「学校コーチング」（教育相談技能の一つ）はそこに入ります。

##### 【教育・特別支援部会からのお答え】

重要なご意見をありがとうございます。「教育相談技能」という表現はリストには直接は含まれておりませんが、これらの技能は、学校現場で活動するにあたって非常に重要となる技能として、本リストの様々なカテゴリー、項目において反映されているものと捉えられます。また、「児童生徒個々及び集団に対しての援助技能」については、同じく V カテゴリーの「①児童生徒本人への支援を行うことができる」や「③学級集団への支援を行うことができる」に含まれる技能として捉えることができるものと考えます。

なお、本リストは、現時点でのコンピテンスリストであり、一定期間運用後、見直しを図るものとして考えております。"

## コメント5

「VI. 特別支援教育に関するコンピテンス②特別支援教育の事例に対応できる：感覚・運動障害等への支援と環境整備ができる」では、「視覚障害、聴覚障害、運動障害、慢性疾患」とされていますが、病弱教育では近年慢性疾患だけでなく精神疾患等のこころの病気への対応が増えており、スクールカウンセラー等の公認心理師の先生方からの支援も期待しているところです。このため、慢性疾患だけの記述では不足している印象があり、修正または加筆いただきたいです。

### 【教育・特別支援部会からの答え】

重要なお指摘をありがとうございました。精神疾患への対応については、VI. 特別支援教育に関するコンピテンスに限らず、児童青年期の心理教育的な援助に関わる様々な領域で求められると考えられますので、IX. 発展的知識と実践に関わるコンピテンスの「④幼児・児童・青年期の精神疾患に関する先端的知識を踏まえて実践活動を進めることができる」に含まれるものとして捉えていきたいと考えております。

なお、本リストは、現時点でのコンピテンスリストであり、一定期間運用後、見直しを図るものとして考えております。"

## コメント6

私は、元小学校教員です。科学者・実践家モデルを理解しているつもりですが、研究に関する内容は難しく感じました。一方、IIからVIIIまでの内容は、SCに求められる能力が網羅されていて、とても参考になります。

### 【教育・特別支援部会からの答え】

貴重なご意見をありがとうございました。特に、研究に関する内容については、今後の研修企画などで、皆様に積極的に学んでいただける機会を準備できるよう検討させていただきます。